

平成24年度県共同募金会配分結果・決算報告

配分結果の報告

平成24年10月から12月まで実施した共同募金運動に、県民皆さまから、11億6912万円を超えるご支援をいただきました。

平成24年度は、県内630の福祉施設・団体から配分申請が寄せられ、公正な配分を実施するため、県共同募金会「配分委員会」で申請施設の現地調査を実施するなど、慎重に配分案の策定作業を行いました。

配分委員会で策定された配分案は、さらに平成25年3月に開催した本会「理事会」「評議員会」で最終審査が行われ、下記のとおり共同募金の使途が決定したことを報告いたします。

共同募金運動にいろいろなお立場で協力を賜りました皆さまに、厚く御礼申し上げますとともに、本会の事業に引き続きご支援くださいますようお願いいたします。



平成24年度共同募金・使途概要

▽ 地域福祉を推進する市区町村社会福祉協議会の活動を支援するために (58団体)	303,606,003円
▽ 法定社会福祉施設を利用する児童・障がい児者・高齢者を支援するために (127施設)	156,054,985円
▽ 障がい者地域作業所・グループホームで自立就労訓練を行う障がい者を支援するために (86施設)	54,118,000円
▽ 青少年・障がい者・高齢者・難病当事者・女性保護団体等の活動を支援するために (94団体)	68,004,996円
▽ 在宅福祉サービスを推進する非営利型福祉団体の活動を支援するために (234団体)	48,040,000円
▽ 年末たすけあいとして募集し、市区町村ごとに行う援護や事業のために (58団体)	400,221,661円
▽ 国内大規模災害時の被災者支援のための災害準備金繰入額として	35,073,000円
▽ 市区町村ごとに共同募金運動を展開するための募金資材の作成等に	57,270,000円
▽ 全戸配布用広報資料の作製や小中学生福祉作文コンクールの開催事業等に	81,670,000円
合計	1,204,058,645円

\*上記使途財源には、前年度繰越金等を含みます

一般会計 各経理区分収支一覧表

社会福祉法人神奈川県共同募金会 自：平成24年4月1日 至：平成25年3月31日 (単位：円)

内 訳	経理区分名	本部	寄付金	たすけあい福祉資金	受配者指定寄付金	合計
1 収入総額		142,352,149	1,193,019,912	2,080,383	229,058,337	1,566,510,781
2 支出総額		139,474,313	1,204,057,645	18,785,832	227,935,665	1,590,253,455
3 当期繰越活動収支差額 (1-2)		2,877,836	△ 11,037,733	△ 16,705,449	1,122,672	△ 23,742,674
4 前期繰越活動収支差額		21,083,910	165,601,695	12,923,832	20,257,779	219,867,216
5 積立金取崩額		0	0	10,000,000	0	10,000,000
6 積立金積立額		3,069,000	0	0	0	3,069,000
7 次期繰越活動収支差額 (3+4+5-6)		20,892,746	154,563,962	6,218,383	21,380,451	203,055,542

貸借対照表

社会福祉法人神奈川県共同募金会 平成25年3月31日現在 (単位：円)

科目	資産の部			負債及び純資産の部			
	平成23年度	平成24年度	増減	平成23年度	平成24年度	増減	
流動資産	1,212,635,948	1,194,513,454	△ 18,122,494	流動負債	994,577,272	995,246,376	669,104
預貯金	1,071,715,318	1,054,499,470	△ 17,215,848	未配分金	816,204,000	808,856,000	△ 7,348,000
有価証券	48,000	6,000	△ 42,000	未払金	133,533,033	111,669,477	△ 21,863,556
次年度運動積立預金	138,939,000	138,940,000	1,000	開拓啓発事業資金	7,770,100	2,770,100	△ 5,000,000
未収金	1,933,630	1,067,984	△ 865,646	災害準備金	35,773,000	70,846,000	35,073,000
固定資産	420,774,540	418,753,464	△ 2,021,076	預り金	1,019,997	1,038,656	18,659
基本財産	9,300,000	9,300,000	0	寄付金義援金預り金	277,142	66,143	△ 210,999
基本財産特定預金	9,300,000	9,300,000	0	固定負債	31,640,000	34,570,000	2,930,000
その他の固定資産	411,474,540	409,453,464	△ 2,021,076	退職給付引当金	31,640,000	34,570,000	2,930,000
退職給付積立預金	31,640,000	34,570,000	2,930,000	負債の部合計	1,026,217,272	1,029,816,376	3,599,104
運営費積立預金	41,000,000	44,000,000	3,000,000	基本金	9,300,000	9,300,000	0
支会経費積立預金	2,026,000	2,095,000	69,000	基本金	9,300,000	9,300,000	0
たすけあい福祉資金積立預金	135,000,000	125,000,000	△ 10,000,000	その他の積立金	378,026,000	371,095,000	△ 6,931,000
投資有価証券	199,768,000	199,768,000	0	運営費積立金	41,000,000	44,000,000	3,000,000
車両運搬具	2,347,230	1,995,975	△ 351,255	支会経費積立金	2,026,000	2,095,000	69,000
備品	3,917,265	4,203,915	286,650	たすけあい福祉資金積立金	335,000,000	325,000,000	△ 10,000,000
減価償却累計額	△ 6,223,955	△ 4,179,426	2,044,529	次期繰越活動収支差額	219,867,216	203,055,542	△ 16,811,674
職員厚生会貸付金	2,000,000	2,000,000	0	純資産の部合計	607,193,216	583,450,542	△ 23,742,674
資産の部合計	1,633,410,488	1,613,266,918	△ 20,143,570	負債及び純資産の部合計	1,633,410,488	1,613,266,918	△ 20,143,570

県共同募金会平成24年度収支決算内容を、次のとおり報告いたします。

収支決算の報告

県共同募金会 TEL 045-312-0300 URL http://www.akaihane-kanagawa.or.jp

## ●生活保護法改正法案の協議進む

5月17日、内閣府は「生活保護法改正案」と「生活困窮者自立支援法案」を閣議決定した。生活困窮者自立支援法案では、生活困窮者を「現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者」と定義し、相談支援のほか、就労支援準備、家計相談支援、子どもの学習支援等の制度化を目指す。【関連記事8・9面】

## ●神奈川県「高校生介護職場体験促進事業」スタート

県は5月20日、高校生に福祉・介護に関する理解や関心を高めてもらい、将来の職業選択につながるよう福祉・介護の仕事の魅力を伝える「高校生介護職場体験促進事業」を開始することを公表した。県保健福祉局・県教育委員会・本会の協働のもと、県立高校生を対象に、「新たな教材を活用した福祉・介護の授業」「出張介護授業」を展開し、「インターンシップによる職場体験」の促進を図る。

★「高校生介護職場体験促進事業」について  
URL <http://www.pref.kanagawa.jp/prs/p661094.html>

## ●「内部留保調査分析」を報告

厚労省の社会保障審議会・介護給付費分科会「介護事業経営調査委員会」が5月21日に開催され、特別養護老人ホーム内部留保についての調査結果が報告された。内部留保や収支差率が赤字の施設もあるなど、施設ごとのばらつきが大きいとしながらも、「財務諸表等の積極的な公表、ガバナンスの強化」「『社会福祉法人による利用者負担軽減』などの社会・地域貢献の積極的な実施」等が課題提起された。

一般家庭から大型ビルまで最新のエレクトロ技術により安心と安全を提供します。防犯カメラや新型AEDも取扱っております。

**京浜警備保障株式会社**

代表取締役社長 岡本誠一郎

本社 〒221-0056 横浜市中区金港町5番地10 金港ビル4F内  
☎(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1527

一般社団法人  
**神奈川県福祉研究会**  
福祉施設経営相談室 税務・会計の専門相談員

理事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)  
同 辻村 洋造(☎045-311-5162)  
同 西迫 一郎(☎046-221-1328)  
同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)  
代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

あなたの情報発信のおてつだい  
デザイン・印刷・ホームページ制作

**きかん印刷**  
株式会社 神奈川機関紙印刷所  
〒236-0004 横浜市中区金沢区福満 2-1-12  
営業部 TEL045(785)1709/0 FAX045(784)8802  
制作部 TEL045(785)1768 FAX045(780)1588  
<http://www.kki.co.jp/>

## 外国籍住民支援に役立つ「やさしい日本語」

本県には、約17万人(約160の国と地域)の外国籍の人たちが暮らしており(平成23年12月末日現在)、それぞれ文化的背景や使っている言葉が異なります。私たちの周りには生活に必要な情報がたくさんありますが、日本語を母語としない外国籍の人には届きにくく、必要な情報を得られず不安な生活を送っている人も多くいます。一方で、「やさしい日本語」なら理解できる人は多く、正確・簡

潔・迅速に情報を伝えるためには「やさしい日本語」が役立ちます。そこで、(公財)かながわ国際交流財団では、日常生活や災害時などに情報を伝えるときのポイントを紹介した、リーフレット『やさしい日本語でコミュニケーション』を発行しました。「やさしい」と感じる日本語は、その人の出身国や経験によりさまざまですが、分かりやすい言葉、聞き取りやすい話し方を考えていくためのヒントがたくさん詰まっています。

(企画調整・情報提供担当)

## 「やさしい日本語」ってどんな言葉?

**元の文章**  
太平洋沿岸を中心に大津波警報が発令されました。警報が出ている地域では、高いところに避難してください

**「やさしい日本語」にした文章**  
たいへいようがわ つなみ たか なみ ちゅうい  
太平洋側は 津波(とても 高い 波)に 注意して ください。  
うみ ちか ところ いる人は  
海から 近い ところに いる人は  
高い ところへ 行って ください。  
(弘前大学人文学部社会言語学研究室作成)



◆(公財)かながわ国際交流財団  
☎045-620-0011 FAX045-620-0025  
URL <http://www.k-i-a.or.jp/kcns/news/933>  
※リーフレットは、ホームページに掲載中です